



保育園・保育所・幼稚園の年長児と「あいさつ」について考えました。

今年度も、町内にある5つの保育園・保育所・幼稚園を訪問し、年長児を対象に、道徳のまち笠松推進会議が制作した「あいさつ絵本」を活用して、道徳の学習を行っています。12月には、下羽栗保育所、松枝保育所、笠松保育園、笠松幼稚園で授業を実施しました。

この道徳の学習は、道徳のまち笠松推進会議のあいさつ部会が中心になって進めているもので、4年前から行っています。授業で扱っている「あいさつ絵本」は、道徳のまち笠松推進会議が5～7年前に作成したもので、3種類あります。保育園等の授業では「あいさつ絵本・その1」を用い、気持ちのこもった挨拶について考えています。

授業では、まず最初に、「どんな挨拶を知っていますか？」と問いかけると、いろいろな挨拶が出てきました。子どもたちは、時と場に応じた挨拶をよく知っていると感じさせられました。

次に、いろいろな挨拶について確認した後、絵本の拡大画像をスクリーンに映して、身振りを交えながら、読み聞かせをしました。

さらに、どんな挨拶だと笑顔になれるかをみんなで考え、「気持ちをこめて挨拶すると、自分の思いが相手に伝わる」ことを確かめました。

最後に、絵本のお気に入りの場面に色鉛筆などで色を塗り、約45分の授業を終了しました。

1月には、笠松双葉幼稚園で授業を行う予定です。

<学習の様子>



※しっかり話を聞いています。



※色塗りにも一生懸命取り組みました。

取材を終えて・・・子どもたちは、話し手の顔を見て、真剣に話を聞くことができていました。きっと、挨拶について何かを感じ取り、気持ちのこもった挨拶をしているのではないかと思います。ご家族や地域の皆さんが、しっかりと応えることが大事です。挨拶の声をかけた人に、寂しい思いをさせないようにしたいですね。